

## 旧米山牧場跡地（柏崎市蕨野地内）廃タイヤ処理の事業化について

### 1 経過

- 昭和51（1976）年 財団法人新潟県農林公社が牧場設置事業を実施（柿崎町）  
 昭和53（1978）年 （有）米山牧場へ有償で譲渡  
 平成2（1990）年頃 牧場経営を行いながら、廃タイヤの収集を行う。  
 平成8（1996）年12月 （有）米山牧場破産宣告  
 平成12（2000）年5月 （農）柏崎畜産組合に牧場用地の所有権移転  
 平成13（2001）年4月 （農）柏崎畜産組合が放牧事業の実施を断念したため、他事業者による牧場用地内への新たな産業廃棄物の持込みが懸念されたことから、米山山麓の環境保全のため、柏崎市が当該地を取得

#### 《火災の発生状況》

- 平成9（1997）年1月1日 牧場用地内で火災発生（焼失程度枯草等 30,000 m<sup>2</sup>）  
 平成17（2005）年4月6日 高畦地内で火災発生（ 〃 枯草 10,500 m<sup>2</sup>）  
 平成19（2007）年4月30日 牧場用地を含む火災発生（ 〃 枯草等 55,000 m<sup>2</sup>）  
 平成21（2009）年5月3日 大平地内で火災発生（ 〃 枯草 200 m<sup>2</sup>）




### 2 タイヤ処理計画

- (1) 仮設道路 ・ 施工延長 L = 1,090 m  
 ・ 幅員 W = 2.5 m  
 ・ 搬出 2 tトラックを想定  
 ※ 雪解けを待って、工事着手予定

#### (2) 処理計画

	処理数	処理費用（見込み）	処理期間
令和5（2023）年度	約16,000本	43,534千円	4か月
令和6（2024）年度	約24,000本	63,289千円	6か月
合計	約40,000本	106,823千円	10か月

#### (3) 事業スケジュール

	R5(2023)年度				R6(2024)年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1
1) 仮設道路整備 R5	 5~9（5か月）							
2) 廃タイヤ処理 R5~R6：2カ年	 9~12（4か月） W=112.0t				 5~10（6か月） W=164.2t			

※ 仮設道路の設置及び降雪状況によっては、処理期間を変更することがあり得る。

### 3 県内のタイヤ処分の現状

- (1) 県内で対応可能な業者は3社
- (2) 産業廃棄物のため、一般的に破砕し、セメント工場など大規模な焼却施設の助燃材として利用している。
- (3) 現在、新潟県周辺は、セメント工場でのタイヤの需要がほぼない。また、全国的に需要は減少しており、セメント産業が盛んである九州方面へ運搬しての処分が一般的である。
- (4) 近年、燃料としてのタイヤチップの需要が減少したことも影響し、全国的にタイヤの処分料は高騰している。ウクライナ情勢や円安の状況でも変わりが無い。

位置図（柏崎市大字蕨野地内）

